

Transition 持続可能な成長を目指す

株式会社キャリアコンサルティングの第23期のテーマは「Transition」（以下、トランジション）。トランジションは、主にバスケットボールやサッカーで使われる用語で、攻撃と守備の切替のことを指します。切替が早いと、攻守において有利になるので、強いチームほどトランジションが早いと言われています。スポーツではなくとも参考になる言葉だと思い、今期の会社のテーマにしました。



失

敗をしたときに「いつまでもよくよしていてもしょうがない」という感覚は、学生のように頑張ったバスケットボールで身につけました。バスケは攻守の切替がとても早く、たくさん得点が入るスポーツです。こちらがどんなに素晴らしいプレイで得点を重ねても、何事もなかったように攻撃をしてくる相手は、失点によるダメージがないように見え、強さを感じます。逆に相手に得点を決められた際に、やられたという表情やうつむくような態度を見せると、相手は「今がチャンスだ」と思い、勢いをつけて攻撃を仕掛け、試合の流れがどんどん相手に傾いていきます。

バスケは、試合の流れですぐに10点差でも追いつけるし、追いつかれてしまうスポーツです。ですから、ゴールを決められても、リングを通過してネットからボールが落ちてくる瞬間にジャンプをして、ボールを取り、味方にパスをして攻撃に入るのが大切です。攻撃中に相手にボールを取られたら、すぐにディフェンスに戻ります。強いチームは、ともかくディフェンスに戻る

るのが早く、味方がボールを奪ったら、速攻でチーム全員がリングに向かって走り出します。相手のディフェンスの体制ができる前に攻めれば、隙だらけなので得点の確率がかなり高まるからです。トランジションを徹底しているチームが強いということをご理解いただけたと思います。

人

生においては、悲しんだり、喜んだりといった感情に浸る時間も大切です。感性が磨かれ深みのある人生を過ごせるからです。ただ、仕事においては少し違います。仕事は次から次へと途切れることなく目の前に現れます。そのため、一つの事象でいちいち落ち込んでいる暇も、ずっと笑っている余裕ありません。たとえば営業の場合、良い仕事ができただけは喜んでいるのですが、アフターサービスはどうすればいいかなど、すぐに頭を切り替えるのが優秀な人の仕事の仕方です。ミスをしてしまったら、落ち込むのではなく、すぐに上司に報告をして、解決策を考え対応します。まさにトランジションです。

黄金時代の西武ライオンズを率いた森祇晶監督はこんなことを言っていました。「強いチームの監督は一喜一憂しない。勝利をしたときに選手は喜んでいいけれど、監督とはまた違うものだ」。この言葉に影響を受けて、勝っても負けても即時に頭を切り替えて、最善の策を指導下に伝えてきました。

一方、トランジションには、推移という意味もあります。18年前にブータン王国で、持続可能な経済成長という政策を学びました。急激な経済成長を目指すのではなく、持続可能な身の丈に合った経済成長を目指すということでした。その考えが非常に素晴らしいと思います、経営に取り入れてきました。急成長をした後、急に売上が下がって倒産した会社はたくさんあります。私は地道にコツコツと頑張って成長していくことを選びました。人づくりも国づくりも、しっかりと持続可能な成長を遂げるべきだと思います。皆さんもぜひ、仕事における切替スピードを上げ、持続可能な成長を意識して、仕事に取り組んでいきましょう。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年に株式会社キャリアコンサルティングを設立。全国で若者の育成に取り組む。ブータン王国王立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパンの講師・審査員。著書に『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』（致知出版社）、『まずは上司を勝たせなさい』（講談社）、『応援される人』になりなさい（ワック）がある。